

ドライブレコーダを活用した事故分析の拡充・強化のためのフィージビリティ調査 平成21年度実施計画(案)

1. 平成21年度調査の背景・目的
2. データベース構築計画
3. 平成21年度調査フロー
4. 平成21年度の調査内容
5. 平成21年度調査スケジュール

平成21年12月16日



1. 平成21年度調査の背景・目的

○背景

- 現在、ドライブレコーダの事故やヒヤリハットデータは、研究事業の範囲で小規模に収集管理されており、その活用範囲は研究事業の範囲に留まっている。
- 今後、事故低減、被害軽減に活用するデータとして、多くのドライブレコーダデータを収集するためには、事業者、運転者からどのようなシステムでデータを収集し、また、得られたデータを活用、管理するシステムを検討する必要がある。

1. 平成21年度調査の背景・目的

- ドライブレコーダデータベースのシステムを構築することを想定し、どこにどのようなデータがあるか、どう活用しているかをアンケート調査
⇒ ニアミス、事故のデータを定期的に収集、継続しているが、データベース化した例は少なく、必要な時に活用するといった状況。活用目的は事故分析、運転教育、事故鑑定など。
- データベースのあり方として、データの使用目的、データ量、個人情報保護、ロードマップ、センター構想などを検討し、ロードマップ、センター構想の具体例を提示。

資料：平成20年度「自動車の予防安全装置の効果評価に関する調査」

○目的

- 事故やヒヤリハットのデータを収集・管理・活用するためのデータベースを含めたシステムを構築し、事故分析の拡充及び強化を目指すため、ドライブレコーダデータベースの仕様、利用方法等について検討を行う。

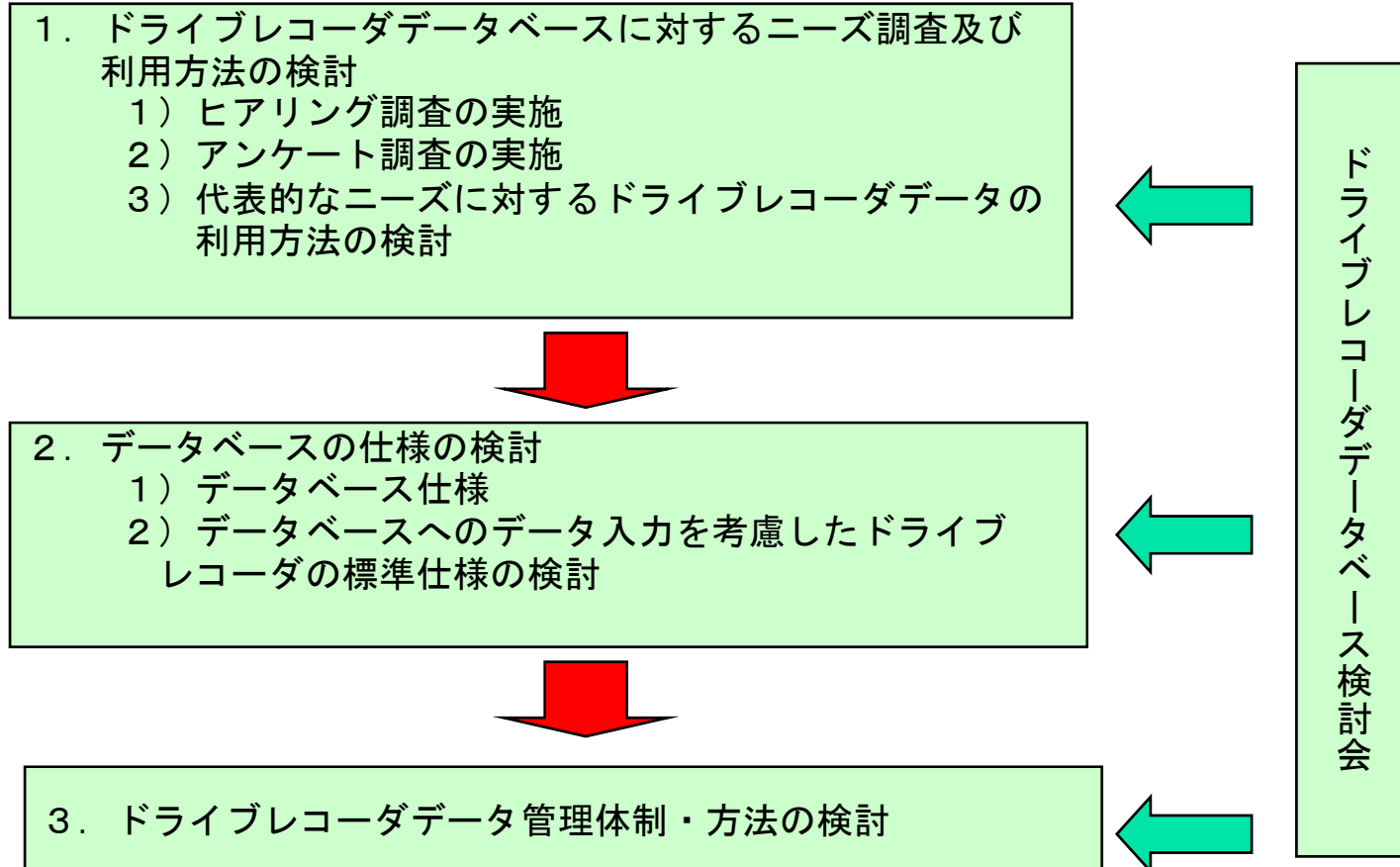
2. データベース構築計画(案)

○平成23年度運用開始目標

平成21年度	平成22年度	平成23年度
<ul style="list-style-type: none">・利用ニーズ把握・仕様の検討・管理体制・方法の検討	<ul style="list-style-type: none">・データベースの詳細設計<ul style="list-style-type: none">・ハードウェア要件・ソフトウェア要件・運用方法の検討・第9次交通安全基本計画への反映	<ul style="list-style-type: none">・データベース構築・ドライブレコーダデータ回収・データベース運用開始

※本実施計画(案)をもとに3ヶ年の計画(案)を想定すると上記のとおり考えられるが、今後、検討会の議論を踏まえて固めていくものとする。

3. 平成21年度調査フロー



4. 平成21年度の調査内容

1) ドライブレコーダデータベースに対するニーズ調査及び利用方法の検討

平成20年度「自動車の予防安全装置の効果評価に関する調査」において、ドライブレコーダは安全運転教育、事故メカニズム分析、安全技術開発、事故・トラブル解決等に利用されていることが分かった。今後、ドライブレコーダの用途・機種はますます多様化することが考えられることから、ニーズ調査により潜在的な利用形態の把握、データベースの幅広い利用性を検討・提案する。

①ヒアリング調査の実施

ヒアリング対象：交通事故・交通安全に関係する行政機関・司法機関・団体・企業・研究機関等から約10か所を想定。

②アンケート調査の実施

- ・トラック、バス、タクシーの事業者のうち、既にドライブレコーダを導入している事業者
- ・損害保険会社（日本損害保険協会加盟20社）

③ドライブレコーダ利用ニーズの把握および利用方法の検討

①、②の調査結果を踏まえ、ドライブレコーダの利用ニーズを整理する。また、代表的なニーズに対するドライブレコーダデータの利用方法も検討し、データベース構築による利点を具体的に提示する。

4. 平成21年度の調査内容

2) データベース仕様の検討

① データベースの仕様の決定

利用ニーズ調査の結果を踏まえ、将来的に幅広い分野での活用を考え、ドライブレコーダデータベースに入力すべきドライブレコーダデータ項目(車速、時間、ブレーキ作動状態、車線数、位置情報等)とデータベース入力・検索時に利用者が利用し易いようにドライブレコーダデータ項目を関連性のあるものにまとめたカテゴリ区分(車両挙動、道路環境情報等)について調査・検討し、データベースの仕様を決定する。

② ドライブレコーダの標準仕様の検討

①と併せてデータベースへの入力を考慮したドライブレコーダの標準仕様の検討を行う。



4. 平成21年度の調査内容

3) ドライブレコーダデータ管理体制・方法の検討

ドライブレコーダデータは、映像記録をはじめ、データに記録された個人情報の保護の観点から、収集・データベース化・利用といった各段階で設けるべき制限について検討する。また、ドライブレコーダデータの利用者として不特定多数が係ることから、データ処理（映像内の人物・場所を特定する情報など）、セキュリティ保護、適切な利用方法といったドライブレコーダデータの適切な管理体制・方法を検討する。

具体的には、損保会社やメーカー等の既にドライブレコーダデータをインターネット上に公開している企業・団体に対して、セキュリティ・プライバシーに関する取組、処理方法等のヒアリング調査を行う。

5. 平成21年度調査スケジュール

調査項目	業務工程				
	11月	12月	1月	2月	3月
1. ドライブレコーダデータベースに対するニーズ調査及び利用方法の検討					
①ヒアリング調査の実施	→				
②アンケート調査の実施		→			
③ドライブレコーダ利用ニーズの把握および利用方法の検討		→			
2. データベース仕様の検討			→		
3. ドライブレコーダデータ管理体制・方法の検討			→		
4. 検討会の開催		○			○
5. 報告書のとりまとめ					→